

一 日本國防 日本哲學

日本哲學ハ廣汎ナル學的内容ヲ所有スルモ、特ニ日本國防學ニ取リテ必要ナルモノアリ。吾人カ國防學体系内ニオイテ扱ハントスルハ次ノ如シ。

(イ) 方法

加上法
虛無法
三物五類立言之紀

(ロ) 絞リノ說

(ハ) 純有機体ノ說

(ニ) 特殊、普遍、獨自

(ホ) 高次、超越、絶對

(ヘ) 主ト客

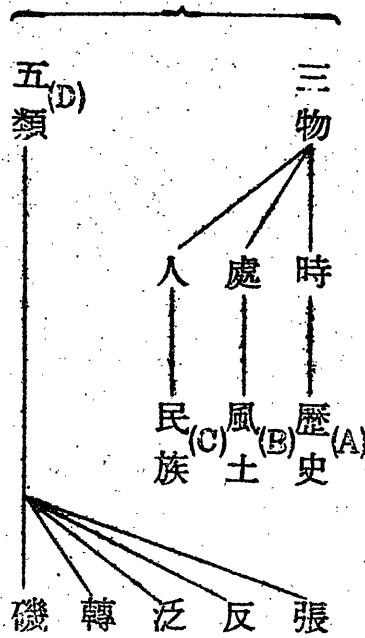
(ト) 自然ト道

(ヲ) 眞史觀

(リ) 日本(實)學ヘノ活用路

2 日本國防學ノ全体並ヒニ肢体ヲ扱フニ就イテ、一ツノ通有ナル方法ニ依ルコトハ所産ノ有機性、

全体性ヲ保ツ上ニ極メテ大切ナリト信ス。コノ方法トシテ吾人カ提記セントスルハ加上法ナリ。辯證法ヲモ内包スル特異ナル性質ヲ有スル上ニ、方法ソノモノノ上ニ日本的性格ヲ加味ス。三物五類立言之紀ハ次ノ如キ形ヲ有ス。



A 國防ヲ廻ル日本史及ヒ日本史ヲ中樞トセル東洋史ノ略義ヲ要ス。

B 國防ヲ廻ル日本及ヒ東洋ノ風土ノ展望ヲ要ス。

C 日本民族ノ決定及ヒ東洋諸民族ノ明確化。

D 加上發展ニ五種類アリ、例ヘハ張ハ誇張發展ニシテ、宣傳戰ノ如キ最モ活用サルモノナリ。各々ノ場合ニオイテ發展ニハ一種又ハ數種カ用ヒラレラルヲ以テ、夫々ノ場合ニ即シテ活用スルモノナリ。

加上法ヲ加上法タラシムルモノハ三物五類立言之紀ニシテ明快ナル説明ヲ要ス。

其

3. 加上法カ日本有機体ノ試煉發展行程ヲ規定スル方法タルニ對シテ、虛無法ハ日本のナルモノ自身ヲ内面的ニ明確ニ規定ス。故ニコノ法モ亦日本國防學ノ建設ニ當リ縱横ニ驅使サルルコトヲ要ス。

4. 日本的ナルモノノ發展ハ包容的ニシテ排他的ナラス。但シ包容的トイフモ、絶エサル純化ニノミ日本のナル道アリトス。然ラサルモノカ日本ニ内在スルモ、ソレヲ目シテ日本のトハイヒ得ス。方ニソノ純化ノ道ヲ示スモノカ絞リノ説ナリ。

5. 日本的ナルモノノ史的發展行程ハ純有機体ノ加上過程ナルコト前篇ニオイテ述ヘタルカ如シ。吾人ハ明確ナルソノ有機体ノ構成ヲ顯ハニセサル可カラス。

6. 日本的ナルモノノ一學タル日本國防學ニオイテ、日本哲學力提供セサル可ラサルハ特殊ト普遍ノ關係ナリ。ココニハ從來ト異ル獨自ナルモノアリ。即チ日本のナルモノハソレ自身特殊ナレトモ、總テ又普遍ニ轉化スル性質ヲ有ス。但シコノ普遍ハ具体トシテノ普遍ニシテ、所謂自然科學ニオケル法則的普遍ニ非ス、一般妥當性若シクハ高次性ノ意味ニオケルモノナリ。具体トシテノ普遍ハ、加上法ニオケル五種類ノ發展ヲ具体的ニ用ヒルコトニヨリ客觀的ニ成立ス。ソコニ成立スルモノハ單ナル特殊、單ナル普遍ニ非スシテ、方ニ獨自ナリ。コノ獨自カ日本國防學ニオイテモ活用サルル

コトヲ要ス。

7. 日本的ナルモノニハ獨自ノ高次性アリ。獨自ノ超越アリ。而シテ又獨自ノ絶對モ存ス。日本國防學カ絶エスソノ根柢ニ置カサル可ラサルモノハ、ソノ高次性、超越性、絶對性ヲ有セサル可ラス。日本哲學ハ又コレヲ鮮明ニシテ、國防學ノ樹立ニ提供スルモノナラサル可ラス。

8. 日本的ナルモノハソノ獨自性ヲ主客ノ深キ關連内ニ見出スコト、例ヘハ血統ヲ重スルコトニヨリテモ知ラル。純有機體ノ顯現相ヲ明示スルコトハ、全國防學ニ亘リテ大切ナル役割ヲ果スヘシ。

9. 日本的自然ノ鮮明化ハ獨歩ノ意義ヲ有ス。特ニ易學的自然ニ、深ク寄與スルモノアリ。例ヘハ日本聖戰學ハコノ自然ヲ内意ニ含マサル可ラス。又、日本ノ道ニハ獨自性アリ。武力、政治ソノ他ニオイテ、日本の道ノ内意力含有サルルハ、國防ヲ廻リテモ重大コノ上モナシ。

10. 特ニ共產主義ニオケル唯物史觀ニ對シテ、眞史觀ノ確立ヲ必要トス。ソハ日本國防學ノ全面ニ及ヒテ、史的ニ明確ナル規定ヲ與フル筈ナリ。

11. 日本哲學ハ所謂概念哲學ノ一切ヲ排除シ、活用ヲ主眼トス。吾人ハ上記八ツノ項目ニオイテ説カル所力如何ニ活用サルヘキヤ又サルルヤニ就イテ路ヲ開カントス。

備考

歴史、風土、民族及ヒ易學ノ點ニ關シ、若干外部へ出ス仕事ノ分野アリトス。特ニ日本民族ノ明確ナル決定及ヒ亞細亞全般ノ風土研究ニ關シテハ、助手一員ヲ置クヘキ性質ノモノナリ。

ニ 日本國防通學

通學カ扱フ第一ノ内容ハ日本國防學ノ意義ナリ。コレニハ次ノ如キモノカ盛ラルルヲ要スヘシ。

- (イ) 國防ノ意義
- (ロ) 日本國防ノ意義
- (ハ) 國防學ノ必要性
- (ニ) 國防學ノ意義
- (ホ) 日本國防學ノ意義

元來國防ノ意義ハ頗ル漠然トシテアリ、之カ決定ハ最モ大切ナリ。依テ通學ヲ扱フ者ハ極メテ鮮明ナル意義ヲ規定スル必要アリ。然レトモコノ規定ハ甚タ困難ニシテ、共通ナル定義ノ決定ノ如キ、確カニ難題トス。蓋シ時處人ニヨル國防形態ハ一様ナラサルカ故ナリ。依テコノ意義ノ内容ハ、最近列強ノ國防狀態ヲ究メ、夫々ノ意義ヲ明示スルコトニ在ルヘシ。而シテ一面コレ等ヲ絞ルト同時ニ、他面日本國防ノ史的發展ノ過程ヲ解剖シ、ソノ最高度ニ立ツモノヲ探リ出シテ、ソ